

レジメンcode:	C22-14	備考
適応がん種:	肝細胞癌	
レジメン名:	Durvalumab単剤療法	
間隔:	4週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	イミフィンジ	[*1]1500	mg/body	点滴(1時間)	d1

[\*1]体重30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kgとする。

day1

1) 生食	50ml	1本	ルート確保		
2) イミフィンジ		1500 mg/body			
生食	100ml	1本			
	主管①	点滴	1時間	インラインフィルター必須	
3) 生食	50ml	1本	フラッシュ用		

〈所要時間 約1時間30分〉

#### 【文献】

国際共同第Ⅲ相試験(HIMALAYA試験 NEJM Evid 2022;1(8)PMID:36016731)

#### 【適応】

\*治癒切除不能な肝細胞癌

\*対象:(臨床試験)全身化学療法歴のない、局所療法の適応とならない、Child-Pugh分類Aの患者

\*PD-L1発現の有無は問わない。

**\*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に内分泌機能検査を実施すること。**

◎検査セット登録あり:場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫チェックポイント初回)(免疫チェックポイント2回目～)

\*インラインフィルター(0.2又は0.22 μ m)を使用する。

\*特に注意する副作用(間質性肺炎、1型糖尿病、肝機能障害、肝炎、大腸炎、甲状腺機能障害、infusion reaction)。

\*適正使用ガイドの有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連)対処方法を参照する。

\*国際共同第Ⅲ相試験(HIMALAYA試験)における検査スケジュールを参照する。